

大年寺山公園

大年寺山公園には、いくつかの史跡と植物園があります。歩道は、17 世紀後半に建てられた寺院の跡を通り、伊達家の数代にわたる墓所を通り過ぎます。伊達家は、江戸時代（1603～1867 年）に仙台を統治した大名です。この公園には見晴らしのよい場所がいくつかあり、近くの山々、海岸の平野、そして仙台市街地の美しい風景を眺められます。

惣門とかつての大年寺

大年寺は仙台の第四代藩主、伊達綱村（1659-1719）に委託され、19 世紀中ごろまで伊達家の菩提寺として仕えました。惣門は大年寺の正門です。惣門は、長くて急な石段の下に立っています。この石段は、山を登っていき、かつて本堂があった場所に至ります。惣門（1720 年代に建造）は、元のまま残っている大年寺で唯一の建造物で、仙台市指定文化財に指定されています。門の前には桜の木が何本か植えられており、4 月には門前で花が咲きます。大年寺は大年寺山のふもと、惣門の少し東に再建されました。

伊達 綱村

ここには、伊達家第 4 代大名の伊達綱村（1659～1719 年）を含む伊達家の数代が眠っています。綱村は、父の綱宗（1640～1711 年）の跡を 2 歳で継ぎ、叔父たちの後見の下で統治を行いました。この叔父たちが代替わりを図ったと考えられています。この策略が伊達家内での争いをも

たらし、綱宗の家臣の1人が殺害されるに至りました。この話は、伊達騒動として知られており、歌舞伎で人気のある演目になっています。

季節の花々

大年寺山公園の西端にある仙台市野草園では、いたるところで季節の花々が咲きます。この植物園の面積は24エーカー近くに及び、池、湿地、森の小道、芝生、彫刻庭園などがあります。4月には、池や小川の近くに水芭蕉が白いユリのような花を咲かせます。初夏にはアヤメが咲き、10月にはキキョウ（バルーン・フラワーの一種）が紫の花を咲かせます。この野草園は、3月下旬から11月末まで開園しています。